

2011年3月研究会

日 時：2011年3月9日（水曜）18:00～19:30

会 場：同志社大学寒梅館 2階 KMB213 号室

講演者：池上浩一（野村ホールディングス コーポレート・シティズンシップ推進室
シニア・コミュニケーションズ・オフィサー、名古屋大学客員教授）

演 題：「グローバル投資銀行 NOMURA HD における創業の精神の承継」

司 会：桑木小恵子（同志社大学 ITEC 研究員、事業承継学会理事）

主 催：一般社団法人事業承継学会

同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター（ITEC）

講師プロフィール

1955 年生まれ。1979 年 3 月、一橋大学社会学部卒業。

1979 年 4 月、野村証券株式会社入社、人事部に配属。

1982 年 7 月、本社勤務、ロンドン大学大学院へ留学（Diploma in
Economics 取得）。

1984 年 7 月、海外投資顧問室 企業アナリストとして外国人投資家
向けに英語でレポートを書き、海外に出張して直接投資家に説明。

1986 年 7 月、第一事業法人部 上場企業を担当し、資金調達を中心に
様々な金融サービスを提供。

1994 年 7 月、国際業務部 債券、為替関連のデリバティブに携わり、企業向けにデリバ
ティブを活用した金融サービスを提供。

1998 年 6 月、法人開発部長 支店で上場企業を担当する企業金融課の金融サービスをサポ
ート。

2000 年 6 月、IR 室長 野村ホールディングスの株主に対して野村の決算と企業戦略を説明。

2004 年 4 月、野村証券グループ本部広報部長兼宣伝部長 広報部長として、各種マスコミ
に対して野村グループの現状を説明。宣伝部長として、TVCM のフレーム「それ、野村
に聞いてみよう」を製作。

2006 年 7 月、野村ホールディングス コーポレート・シティズンシップ推進室シニア・コ
ミュニケーションズ・オフィサー（現在に至る）

2011 年 1 月、名古屋大学客員教授

CSR 活動を担い様々な社会貢献活動を行う。野村グループは毎年 130 を越える日本の大学、
10 程度のアジアの大学に金融関連の講座を提供しており、池上氏は 60 を越える日本の大学
と、中国、インドやベトナムなどアジアの大学で毎年講義をしている。



事務局報告

本研究会は、事業承継学会と同志社大学 ITEC が共催する形で開催されました。

今回は、野村ホールディングス コーポレート・シティズンシップ推進室 シニア・コミュニケーションズ・オフィサーの池上浩一氏をお招きし、わが国の証券業界をリードしてきた同社において創業者野村徳七（1926年に野村證券を創業）の精神がどのように継承されてきたのかについてご講演いただいた。講演では、特に2008年にリーマン・ブラザーズの欧州部門・アジア部門を統合して以降、事業面でも組織面でも急激な **global transformation** を経験してきた同社において、創業者精神がどのように見直され、そして今日のグローバル企業“NOMURA”が掲げる **Vision Statement**（世界で活躍する顧客志向の金融機関として信頼と成果を勝ち取る）と **Value**（熱意と先取、変化と創造、信頼と協力、責任と遂行）につながっていったのかについて、同社の **CSR** 活動のキーマンであるご自身の具体的なご経験を踏まえながらお話いただいた。なお、同社の **Vision Statement&Value** のより詳細な内容については以下のサイトで見ることができます。

<http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/stakeholder/employee/support.html>

本研究会の出席者数は20名でした。